

## 日本医科大学(前期) 英語

2024年2月1日実施

[ I ]

問 1 ① pass ② suggesting ③ relates ④ led ⑤ launched

問 2 (1) (う) (2) (え) (3) (い) (4) (あ)

問 3 記号 : (い)

理由 : NASA による火星探査がマーズバーの売上増加をもたらしたのは、関連した事項を人々に思い起こさせる刺激として機能したものと考えられるから。

問 4 記号 : (お)

理由 : ワクチンが自閉症を引き起こすというのは誤った言説であったが、人々はその情報が有用なものであると思ひ込み、子どもたちを守るという実用的価値のために誤った情報を拡散させたから。

問 5 In my opinion, that story can be best illustrated in terms of the “emotion” principle. As written in Paragraph 6, what evokes some sort of emotion often gets shared. The musician wrote a song about his disgusting experience and expressed his anger on YouTube. Then the video full of disgust was seen by many people, activating much stronger feelings among them.

問 6 d 問 7 c 問 8 a, b 問 9 c 問 10 a

問 11 b 問 12 b

< 講評 >

昨年度と同じく、記述式長文・マーク式長文・適語補充の各スタイルを1つの大問に併合した出題形式が引き続き踏襲された。文章量も昨年度と同じく、問題用紙4ページ分をフルに使った超長文であり、集中力を絶やさずに読み通せるかが肝となる。例年通り Choose ALL 型の内容一致問題も1問出題された。

< 解説 >

問 1 ① : pass get viral や catch on の言い換えが入ると分かる。あとは on を見れば、語法上、pass on A しかない。

② : suggesting that 節を後続できる動詞は、suggest のみ。あとは分詞の形。

③ : relates 自動詞が入る。it が news を指す (News ... spreads から単数扱いをしていることは自明)。lead も to をとれるが、因果関係を表すため不可。三単現の s を忘れないこと。

④ : led 内容上、因果関係。the fact that... が S であり、V が必要。to をとれるのは残り、lead しかない。等位接続詞から考えて、時制も過去時制。

⑤ : launched 「広まる」のような語が入ると想定。受動態として launched にする。

問 2 (1)・(2)は簡単に決まる。(3)の Practical value については、本文の内容に依拠すれば(あ)・(い)の両方があてはまり得る (idle chatter は「与太話」, 「根拠のない話」ぐらいの意味合いで、ワクチンが自閉症を引き起こすとする誤った言説が人々の間で広まったという事例に依拠すれば誤りとは言えない) が、(4)の Stories に(い)を充てるのは明らかに不適であ

るため、消去法で解答を決定した。

- 問 3 パート 1 全体の内容を踏まえると、社会において商品や考え方がいかに広まっていくか、その要因を述べた文章と言える。
- 問 7 第 14 段落第 2 文で、「この話題に触れることで、人に remarkable と思ってもらえる」述べられている。
- 問 8 a. 第 16 段落第 1 文に合致。b. 第 18 段落第 1 文から 2003 年に活動が始まったこと、第 19 段落第 2 文の the next November が 2004 年を指していることから、第 20 段落の The next year は 2005 年のことを指していると判断できる。
- 問 9 第 3 段落冒頭、some common themes, or attributes ... の言い換え。characteristics であれば正解だが、1 は不可。sugar の話があることから ingredients が正解。
- 問 10 第 2 段落第 2 文で、「マーケティング、政治、(中略) いずれに携わっているのだから」と述べられている。
- 問 11 第 10 段落最終文で、The Mars bar の名称の由来は、製造会社の創業者の名前であると述べられているように、NASA の火星探査計画とは無関係である。
- 問 12 原著論文は、自閉症とワクチンとの因果関係をでっちあげたものであるから、本文の記述に反する。

## [ II ]

### (解答例 1)

In my opinion, the most prominent factor that caused the sudden outburst of moustaches is “public.” The more people grow their moustaches, the more visible the trend becomes, which will lead to even more people growing their moustaches. This is the “public” aspect of the phenomenon.

But I think there is one more factor — practical value. That trend finally went on to the movement that insisted on improving men’s health. The long moustaches became a symbol of that movement, and it has succeeded in raising adequate funds worldwide. It is safe to say that the moustache movement spread even further by gaining its practical value.

(106 words)

### (解答例 2)

The following factors may explain why the sudden bursts of moustaches occurred. As the article states, many men die of cancer each year.

First, previously it was impossible to tell who had donated to research and treatment, but now it has become possible to identify these individuals by their appearance because more men grow their moustaches for a month in November. In this sense, the principle of “public” is applied.

A second factor that may have contributed to this phenomenon was that the story, which started as a casual conversation about men's fashion and eventually succeeded in raising a large sum of money, was well received. In this regard, the principle of "stories" can also be applied.

(117 words)

<講評>

本文中で挙げられた口ひげの大流行という事例について、それがどのような原理で引き起こされたものと考えられるか、大問 I で読み解いた内容をベースに論述する問題。問題文に“using what you have learned about the principles in the text”と明記されている通り、この本文を通じて得た知見を答案に織り込まなければならず、テキストをきちんと読解できたかどうか英作文を書くためのスタートラインとなる。

[Ⅲ]

- |      |              |                 |      |       |       |       |
|------|--------------|-----------------|------|-------|-------|-------|
| 問 1  | c, e         | 問 2             | a, e | 問 3   | b, d  |       |
| 問 4  | (1) a        | (2) e           | 問 5  | (1) c | (2) a |       |
| 問 6  | (1) d        | (2) c           | 問 7  | (1) b | (2) d |       |
| 問 8  | (1) a        | (2) d           | 問 9  | (1) c | (2) a | (3) b |
| 問 10 | (1) b (→are) | (2) d (→either) |      |       |       |       |

<講評>

例年通り、発音・語彙・文法に関する小問集合が出題された。問 9・問 10 の文法問題は全体に平易であり、これらを解く時間を残しておけたか（あるいは解く順番を考えられたか）が合否を分かつ鍵となるかもしれない。

<解説>

問 9 (1) The moment SV 「SV するやいなや」を問うている。

(2) The researcher had always believed that ... が完全文であり、空所後ろにも they would improve という節構造が存在していることに着目する。a を補えば、believe に対する目的語たる that 節がもう 1 つ増える（等位接続詞 and によってそれらが並列されている）ことになり、by making ... の句が they would improve を修飾しているという文構造が完成する。

(3) In 1990 は副詞句、having been ... もカンマで区切られていることから動名詞句ではなく分詞構文であると判断する。したがって空所には主節たる S+V 構造が必要。

問 10 (1) Behind ... の前置詞句で文が始まっていることから、倒置文であると判断する。主語にあたるのは people から始まる句で、複数扱いであるため be 動詞は are でなければならない。

(2) There was no evidence ... but no proof that they weren't という否定文へ対する「～

もまた（…ない）」の表現であるため、too ではなく either を用いる。

【総評】

大問構成・出題形式ともに昨年度と同一。易化した昨年度前期に比べると、一部判定に困るような選択肢も散見された。一次通過ラインは、他科目との兼ね合いもあるが 65%程度か。

昭和大学医学部[Ⅱ期]模試2.21(水)

科目 英/数/化/生/物 申込締切 2月18日(日) 20:00

会場 東京/大阪/福岡

聖マリアンナ医科大学[後期]模試2.23(金)

科目 英/数/化/生/物 申込締切 2月20日(火) 20:00

会場 東京/大阪/福岡

対象 高3生・高卒生対象

料金 6,600円(税別)



※内容は変更になる場合がございます。最新の情報はホームページよりご確認ください。↗

医大別直前講習会 受付中

- 東京医科大学
- 東邦大学
- 慶應義塾大学

後期・Ⅱ期

- 獨協医科大学
- 聖マリアンナ医科大学
- 日本大学
- 埼玉医科大学
- 昭和大学
- 日本医科大学



◆各講座の時間割・受講料・会場についてはHPでご確認ください。↗

本解答速報の内容に関するお問合せは



医学部専門予備校

**YMS**

heart of medicine  
☎ 03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>  
東京都渋谷区代々木1-37-14

医学部進学予備校

**メビオ**

☎ 0120-146-156  
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校

**英進館メビオ** 福岡校

☎ 0120-192-215  
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

メルマガ登録または LINE 友だち追加で全科目を閲覧

メルマガ登録



LINE 登録

